

## 会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	平成19年度 第2回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	生涯学習部 社会教育課 (内線 3421)		
開 催 日 時	平成19年5月23日(水) 10時00分～12時00分		
開 催 場 所	川西市役所 5階 502会議室		
出 者	委 員	生田議長、小柳副議長、森委員、後藤委員、佐道委員 武村委員、十河委員、池田委員、福島委員 計9名	
	そ の 他		
	事 務 局	中本生涯学習部長、玉邑生涯学習推進室長 後藤中央公民館長、小畑学校教育室長 松岡教育情報センター所長、山川社会教育課長 横田中央公民館主幹、平瀬地域教育課主査 神吉社会教育課主任 計9名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 報 告 (1) 阪神北地区社会教育委員協議会 第1回理事会について (2) その他 2. 議 題 (1) 平成19年度「川西市社会教育委員の会」 年間テーマについて 3. その他		
会議結果	別紙のとおり		

議長	<p style="text-align: center;">（ 議 題 ）</p> <p style="text-align: center;">平成19年度「川西市社会教育委員の会」年間テーマについて</p> <p>本年度の年間テーマを決めねばならないのですが、新しい委員の方もいらっしゃるので、昨年、一昨年度の年間テーマを確認していきます。17年度は、「よりよい地域教育システムづくりで、子どもの居場所づくり」、18年度の主テーマは、「よりよい地域教育システムづくり」、サブテーマは、「人をつながる地域の輪」ということで論じてまいりました。</p> <p>今年度のテーマはどういたしましょうか。昨年度は、テーマを決めるのに「社会教育委員の会」の2回分かったのですが、ご意見などございませんでしょうか。</p> <p>委員の皆様から、一言づつ出していただきまして、まとめていく形にさせていただきたい。すぐには出てこないかと思いますが。</p> <p>阪神北のテーマと川西市のテーマとは、一致する必要はありません。7回「社会教育委員の会」で論じる時間がありますので、能率良く進めていけるように、一つの方向付けが今日論じられればありがたいと思います。</p>
A 委員	<p>「よりよい地域教育システムづくり」、「人をつながる地域の輪」と、何年も同じようなテーマで話し合ってきて、ほとんど理想は見えているのですね。それをどうしたらつながるかというので去年教育委員会として一つの討議報告を作成して提出したわけですから、ちょっと視点を変えて、阪神北地区のテーマと合わせるのも必要かなと思います。また同じような討論になるので。</p> <p>今、すごく少年犯罪等が増えて川西市だって、論外ではないと思います。地域の子どもの居場所づくりを地域、社会が作るのはすごくいいのです。いいのですが、やっぱりもう一度家庭を見直してみませんか、というのを私はすごく思っていて、赤ちゃんが生ま</p>

<p>A 委員</p>	<p>れる前、お母さんのお腹の中で、10月10日（とつきとおか）いるわけ。</p> <p>お母さんのお腹の中で、心臓の音を聞いているわけです。お母さんの胎盤から、色々な物をもらっているのです。10ヶ月かけてお母さんのお腹の中で安心しながら、いきなりポーンと娑婆に出るわけです。ものすごく不安なのです。不安なところでお母さんが抱いてくれたら、お母さんの心臓の音がお腹の中で聞いていた時の心臓の音と同じなのです。おっぱいを吸いながら、少しずつ社会にリハビリ、対応していく、ちょっとずつ慣れていくのです。</p> <p>それが、「三つ子の魂百まで」で、三年かかると言われています。お母さんの心臓の音、声を聞きながら、少しずつ慣れて、ちょっとずつ（お母さんから）離れていくわけです。</p> <p>離れてまた戻ってくる所があるから、安心して離れられるのです。お母さんが戻ってくるところが今、ないのです。やっぱり、皆闘っているのです。母親も闘い、父親も闘い、子どもも闘って、戻る所がないから、皆でたむろするわけです。</p> <p>だからもう一回・・・こういうところが大事ですよ。ご主人だって、奥さんが暖かいご飯を用意していたら、絶対帰ってきますよ。息子だって、娘だって、帰ってきますよ。帰ってくる場所というのが、食べ物であり、今時は、コンビニのおにぎりを夕食で食べている子どもが増えている。そんなのもう一回・・・働かなければいけない人もいる、働く方がいい人もいる。でもちょっと考えてみて、お母さんのお腹の中に子どもがいる時にちょっと考えて、私は家に居られるわと少し思ってみませんか、というのをちょっと投げかける？それでもやっぱり私は働こうという、そういう選択をするのもいいですし、ちょっと考えてみて、というのをね。</p>
<p>B 委員</p>	<p>今、本当に家庭、状況、世相が誰もが豊でもないし、（生活が）大変な人がたくさんいて、お父さん、お母さんが一生懸命働かねばならないので、どうしても気持ちが殺伐として何もかも放ったらか</p>

<p>B 委員</p>	<p>して、ふりみだして働いていると言う状況があるのだが、やはりその中で一つの絆みたいなものがあれば、子どももそれを見て誰のために頑張っているのか、それを見たら自分も頑張らなければならないのだなという家庭の中での、一つのコミュニケーションみたいなものができれば、そういう状況でも家庭とは何ぞやと、どんな家庭がいいのか、ということを考えながらやっていくことは可能だと思います。</p>
<p>A 委員</p>	<p>最低限の、愛情の基本は必要です。愛情の土台さえ作っておけば、いくら離れても安心です。それこそ3歳から英語を教えるとかではなく、やはり愛情を土台で作っておいたら、どこへ行こうか（安心です？）今はもう、初めから働くことありきなのです。もう当然みたいに、それが自然だというふうに。ちょっと考えてみて、という投げかけだけでも違うと思います。</p>
<p>C 委員</p>	<p>私は、小さいお子さんが居るお母さんと接することもあるし、気持ちの中にはその考えは持たれているし、したいと思っても、現実として出来ないという方がたくさんいらっしゃる。</p> <p>小学校なんかは、今お聞きしたいのですが、結構、母子家庭が増えてきているとお聞きするのですが、結構クラスにもいると。</p> <p>そういう家庭のお母さんは、やはりお仕事をしないといけないし、あまりお母さんが子どもと一緒にいないと将来・・・と言われると、生活のためにお仕事をしていかなければならない方には、ストレスがあつたりとか、「私はこれで良いのだろうか。」と悩まれたり、子ども達は3年生までは、預かってもらえるけれど、それ以上は小学校は学童保育はないから、お家でお留守番となります。</p> <p>それは、すごく気になるけれども、やっぱりお仕事はしないと出来ないという方達も安心できるということも必要であると思います。</p>

<p>A 委員</p>	<p>そういう方達がいるというのは、確かなのです。お母さんが早く亡くなったとかいう方がいらっしゃるので、こういうことを言ったらやっぱり可哀想なんじゃないかという風潮が今まであって、学校の体育祭にしても運動会にしても、皆が同じように走るようになったと、皆で……。</p>
<p>C 委員</p>	<p>私が言いたいのはそういうことではなくて、お母さんが常に居なくてもいい、ちゃんと子どもの方に気持ちを向けておいてと言ってあげるほうが、あんまり具体的にこのぐらいの時間はしっかり抱きしめてあげてとか言われると、現実には出来ないお母さんもいらっしゃる。</p> <p>私は具体的な数字が知りたいのです。母子家庭はどれくらいいらっしゃるのかとか、学童保育にどれぐらいの子どもさんが、川西市では参加していらっしゃるのかとか、そういうところはどうかかなと。子どもの方に話が向いていますが……。</p>
<p>議長</p>	<p>引き続いて皆さん方、意見を出していただけたら（テーマが）絞れてこれるのではないかと思います。</p> <p>D委員はいかがですか。</p>
<p>D 委員</p>	<p>やっぱり、家庭で子どもと触れ合うことが一番大事だと思うのですが、お母さんが1人で抱え込んでしまうところもありますよね。</p> <p>愛情を注がなくてはいけないと言う気持ちはあっても、どうやって子どもと接すればいいのかとか、核家族でおじいさん、おばあさんがいらっしゃらない方も多いので、どうしたらいいんだろうという時に社会教育の部分が登場してきて、こういうサークルがありますよ、お母さんの悩みをこうやってみんなで語り合って解決しましょうというところがあるので、多分気持ちとしては思っているのではないかと思います。表現の仕方では抱え込んでいらっ</p>

D 委員	<p>しゃる方もいるのではないかと思います。</p>
A 委員	<p>公民館活動などで、最近そういう事業が増えてきていますよね、子育て支援の。そういうのを大いにアピールして……。</p> <p>今、半々ぐらいですか専業主婦と働く方と。やはり、どちらも大事だというのがありますが、でも基本はお母さんなんだよというのが、そのお母さんが今、それこそ専業主婦の方が、すごく居づらくなっているのです。</p> <p>これだけ女性が社会進出していて、専業主婦でいると税金泥棒みたいなね。そんな本もベストセラーで出ましたよね。</p>
C 委員	<p>でも今、ちょっと落ち着いてきましたよね。</p>
A 委員	<p>そうですね。今、ちょっと落ち着いてきましたね。</p>
C 委員	<p>一時期すごいあれで。(そのような風潮があって?)今は、半々ということで均等しているかもしれないですね。</p>
A 委員	<p>そうですね。だからこう、流れとしてそういうことを今、言ってはいけないような雰囲気になっているのですね。全体的に、社会的にね。女性の社会進出が進んできて、男女共存……。</p> <p>それこそ、うまくいってきているのに女性がそんなことを言うなんてと言われたことがあるのですが。やっぱりそれも、どうですかとちょっと考えてみてというね、投げかけというのが……。</p> <p>当たり前みたいに親に預けて、どこかに預けて外へ出るというのが、若いお母さんの生活という雰囲気です、最近すごく。</p> <p>ちょっとやりくりしたら、楽しく過ごせるのになっていう、人も子どもを預けて、預けるためにパートしてというね。</p>
D 委員	<p>子どもを預ける時の、気持ちですよ。私事なのですが、鍵っ子</p>

<p>D 委員</p>	<p>で育ったので、自分は家に居て子どもにいつてらっしゃい、お帰りを言いたいと思って……。自宅で仕事をしているのですが、やっぱり忙しい時は、放ったらかしになっているし、それでもずっと（子どもが）生まれてからやっていることが、行ってらっしゃいの時に手と手をパチンとして行ってらっしゃいするのですが、そしたらどれだけ前日夜けんかして、しかり倒していてもやっぱり朝はそれをして、行くのですよね。</p> <p>23歳になる娘もまだいるのですが、今だにそうやっていて、そういう気持ちの持ち方を色々な場面で、そういう若いこれから不安を抱えていらっしゃるお母さん達とか、お腹に赤ちゃんが居るお母さん達にお話しする機会というか……。身近な子育てとは、親の愛情とはとか、難しいことじゃなくて身近なこととかをお話しする機会があればね……。いいかなって。</p>
<p>B 委員</p>	<p>どう接して良いか分からない、お母さん方にどんなふうにするか、教えるとかではなくて、井戸端会議みたいなものでも構わないのですが、その中で話をしてこの人はこんなことをしているというのがだんだん分かってきて、自分に出来ることを見つかれば、こういうふうにしていこうかなというのが分かればいいと、ふと今思いました。</p>
<p>A 委員</p>	<p>公民館の事業で、そういうのも入ってきていますよね。そういう輪を増やして行って、つなげていくというか、子育てを不安に思っている人もいるし、自分は働いていない、専業主婦だという負い目をものすごく持っている方もいらっしゃいます。</p>
<p>C 委員</p>	<p>反対の方もいらっしゃる。</p>
<p>議長</p>	<p>なかなか素晴らしい意見が出ていまして。これではうまく後1時</p>

議長	<p>間後には、まとまりそうな感じですね。</p> <p>E 委員さんは学校現場の経験から、社会教育委員の会としてテーマを決めると言われても難しいとは思いますが、違った視点から、今フリートーキングのような形ですので、お願いします。</p>
E 委員	<p>なんとなく（テーマが）もやっと見えてきたかなという感じがしているのですが、17年度は「子どもの居場所」というサブテーマでやっていただいて、学校としては非常にありがたいなと思っています。ただ、やっぱり具体的な施策に結びつく方向で姿勢が求められているということがよく分かりますし、もうちょっとその辺を掘り下げていくのがいいのかなと思ったりします。</p> <p>あまり学校では、親向けには言わないのですが、自分自身の子どもの成長を見ていまして、一番大きいのは家庭だと思います。</p> <p>学校教育もありますが、半分以上が家庭教育に大きな意味があるのではないかと思います。</p> <p>要するに、うちの学校でも今まで頑張ってきたことは、生きる力ということを言われているのですが、心と頭と体を鍛えることであると…。特に学校では、頭を鍛えることは、中心にやってきました。</p> <p>ただ、これはPTAでもよく言うのですが、やっぱり頭を鍛えていくために基盤になるのは、生活管理ですよ。普段の生活態度とかね。この間もPTA総会で話したのですが、朝ちゃんと決まった時間に起きて、決まった時間に食事をして、顔を洗って学校に来てもらわないと・・・学校というのは、非常に規則的な生活を送りますので、順応できないし、お腹がすいていたら話も聞けないし。</p> <p>この間、新聞に載っていたのですが、西宮市で朝食を取っている子は、学力的にも・・・う～ん、というのがね。本当にそうだと思います。別に調査しなくても、僕らは経験的にそのようなことは分</p>

<p>E 委員</p>	<p>かるのですよね。学力を伸ばしていくためには、学校でもシステムづくりを頑張っ、限界まできているなと思っています。</p> <p>あと出来ることは、教員を増やしてもらうことぐらいで、今いる教員で出来ることはしているのですが、そこまで出来ているから今、PTAにも言っているのですが、やっぱり子どもの意識をもっとね。</p> <p>母子家庭、父子家庭が多い、その中でお父さん、お母さんが目一杯のところは実際ありますからね、その辺をどう支援していくかという問題があると思います。教委のほうがお父さんお母さんをカウンセリングすることもありますね。また、カウンセリングを勧めたりすることもありますし。</p> <p>学校でも出来るだけやれることはやろうとするのですが、抱えきれない部分があるのでね。その辺のところをどう地域でやるか、地域だけの問題でもないと思うし、社会全体でその辺をどうカバーしていくか・・・自分としてはその辺を一番考えていきたいと思っています。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。F委員いかがでしょうか。</p>
<p>F 委員</p>	<p>テーマとちょっとつながらないかもしれませんが、自分達は子どもが病気をしたら田舎へポーッと放ってくと・・・、とにかく早く言えば、絆というのは愛情だと思うのですが、それ以外のことについては、物理的にはとにかく非常に小さい時から保育所に預けて、親から離して育てる。それで孫が出来てから、親が子どもに何と怒られるかといえ、放ったらかしにして育てられた。」と。</p> <p>何ということをするのかと私は思ったのですが、「私たちは違う育て方をする。」と言われたのですが、その後しばらくしてやっぱり同じです。（同じように育てている？）自分も勤める。じっと子どものことに数年間何もせずに、子どもの世話ばかりするのは私はいやだ、働きたいと言って、今働いていて非常に夫に負担かかかると。</p>

<p>F 委員</p>	<p>土曜日に休みだけれども、自分は働きに行くから夫が1人2人の子 どもを見ておりますけれども。</p> <p>そういうことなどを含めて、それならそれで愛情が切れるかとい えばそうでもないと思います。結局、愛情さえしっかり持っておれ ば、子どもは何とか育つという気がします。</p> <p>最近、2番目の娘が近くに住んでいて、4ヶ月の孫がいますが、親 子だけでは、母親と子どもだけでは、育てきれない部分、誰かの援 助が欲しい部分、それから孤立するという部分があります。近所を 見回しても(子どもが)誰もいない、鯉のぼりを探して、この子と 誰が同級生になるのだと探しまくったら、「あった。」という感じ で、周りにあまり子どもがいないという状況があります。</p> <p>E 委員がおっしゃっていましたが、最初の頃と比べてずいぶん留 守宅の子ども(鍵っ子)が増えております。いうことはやはり、母 親の社会進出というのか、どちらかと言えば働かざるを得ないから という部分が多分にあると思います。</p> <p>そういうふうに理想的に、忙しくても何とか子どもをきちっと見 れたらいいのですが、もう子どもも見れないと、具体的に言え ば、物理的に言えば、食事もちよっと準備が出来ないというような 状況、それから子育てはこうですよというようなことを言われても、 そうはいかないというような現状がやはり……。</p>
<p>A 委員</p>	<p>そういうのを、じゃあ誰が支援するか。それは仕方がないのだ、 で終わってしまえば何もならない話で、働いているお母さん、専業 主婦のお母さん、1人で子育てに不安になっているお母さん、そのお 母さんが、何かあれば母親の責任であると思うてしまいますよね。 どうしたら助けられるのかというのを全体的に、それこ そ公民館や、行政がどう手助けしていくか、あるいは企業にしても お母さんが本当に働きやすいように、それこそ会社に保育室を作る みたいな、それぐらいの訴えかけというのですか?そしたら(子ど</p>

A 委員	<p>もが) そばに居るといっただけでも安心ですよ。そういうことも考えていくべきなんじゃないでしょうか。</p>
議長	<p>家庭教育、子育て・・・テーマを決めるに当たって、これだけ論議が沸騰するという事は、先が見えてきたような感じもするのですが(テーマを決定するのに)、ただ違った角度、色々な分野がありますので、我々社会教育委員として教育委員会にもの申していかなばならない部分もありますし、昨年三田市の社会教育委員の会で、朝の挨拶運動を社会教育委員の会が提言して、市民全体に挨拶をまず、三田市がやっといこうというテーマで教育委員会にもの申して書類を出していらっしやいますね。</p> <p>色々な角度で煮詰めましょう。G委員いかがでしょうか。</p>
G 委員	<p>色々皆さんのご意見を聞かせていただいて、私が考えていましたのは、私も社会教育委員をやらせていただいて5年目になりました、いろいろと提言をさせていただいてやっているのですが、実際それが本当にどうなっていくのかというのが非常に気になるところで、社会教育委員の会で実際に具体的などころまで落とし込めるのか、具体的などころまでやっていくのかという問題もあると思うのですが、その辺のところ非常に気になっているところなのですが、それが何らかのお役に立っているのかな、ぐらいにしか思えないのが非常に残念だなというのがありまして、今日のお話の中で、家庭教育というのがやはり、家庭が一番中心であって、先ほどの皆さんのご意見に私も同感ですが、非常にナイーブというか、非常に難しい問題なんじゃないかというのは、私も子どもが中学生、小学生とおりますので、いろいろと家内から今の現状を聞いたりして、非常に色々な家庭があるのは当然だと理解しております。</p> <p>その中で、家庭教育に対してこうだよというふうに言っていけるところは今のところないと思います。それが自由なのか、何なの</p>

<p>G 委員</p>	<p>か、今の時代にこういう形が形成されてしまっているの、それをじゃあ社会教育委員の会でということが非常に難しいなというのは先ほどからちょっとクエッションのところで、今思っているところ です。</p> <p>冒頭に議長が言われました、阪神北のテーマである「地域教育を支援するための人材育成方策」ですか、この「人材育成方策」というのはちょっとどうかと思うのですが、サブテーマ「大人の学び」というところが、これが色々な意味があるというふうに（議長が）おっしゃったと思うのですが、その中の「大人」という観点から考えると「家庭」、「親」とかその辺のところも当然ながら出てくると思います。「家庭教育」という一つの名前を使ってやるのは非常に難しいというか、デリケートなところではないかと今は思っているところですので、内容的にはそのことを盛り込んで、是非ともやりたいと私は思っております。以上です。</p>
<p>副議長</p>	<p>「家庭教育」のことは、G委員もおっしゃったようにやっぱり色々な考え方があると思いますよね。やはり今、お母さんという話が出てきましたけど、お父さんだけで（子供を）育てていらっしゃる家庭もずいぶんたくさんあるわけで、色々な家庭のあり方ということがありますので、一つの視点から捉えるということは難しいと思います。</p> <p>ただ、一番大事なものは家庭だし、それを考えていかなければいけないというのは当然で、いつもどのようなテーマになってもいつも「家庭教育」というのは出てきておりますので、当然それは大事だと思っております。</p> <p>本年度のテーマについて、やっぱり「家庭教育」のことにしても、子どもを育てるのは親であり地域の者ですから、その人たちがどういうふうな生き方をするか、そこが大事なのだと思いますね。</p>

<p>副議長</p>	<p>大人が、（心豊かに？）どんなに忙しくても子どもの方を見れる余裕があったり、色々な人の話を聞いたり、スキルを身につける機会があって、うまく家庭を回していく、回していくという言い方は良くないかもしれませんが、そういうことがあればかなりスムーズにいくのではないかと思います。</p> <p>色々な学び場があって、そういう場学びの場をどういうふうにするか、またその学んだことを次に活かせる場が必要ではないか。昨年も「人でつながる地域の輪」という話はできているのですが、そのつなぎの場づくりというところが私自身の活動の中にもそんなのですが、そこをどうするか、それを具体的に何か実践までこの中で一つ提案ができたらいいかなと思っているのですが。学びの場が活動へとか、行動へとかそういうシステムをぜひ考えたいなど、思っています。</p>
<p>B 委員</p>	<p>今、聞いて思ったのですが、私は柔道協会という本当に小さなこと、（とこ？）なのですが、子ども達と一緒に親も練習について見に来て、なんだかんだ僕らが教える時にいろいろとお世話してもらっているのですが、その中でお父さんでわりと経験者の方がいらっしゃる。その方に僕は「とにかく、柔道に来てください。柔道に来て、子ども達と一緒にやってください。」ということで今、呼びかけていっているのです。</p> <p>その中で何がやりたいかと言えば、お父さん方、大人同士で何とか仲良くなりたいなと思っています。皆あちこちばらばらで出てくるわけですが（いろいろな地区から来る？）その中でお父さん同士仲良くなって、コミュニケーションができて、色々な輪ができればそれが子どもにも波及してくると思います。大人から子どもへ。</p> <p>そういう輪ってものすごく大切だと思いますし、今年はどうでもそういう形でやっていけたらいいなと、そういう小さいところから。そういう形でひとつの小さなグループでもいいから、子どもの</p>

<p>B 委員</p>	<p>グループでもいいからその親同士が集まって、コミュニケーションを取ってそこを何とか子どもと一緒に盛り上げていこうという意識さえ生まれてくれば、それをまたずっと継承していけばどんどん良くなっていくんじゃないかなという気がしていて、今年は特にそれを強く思ってやっていくところです。</p>
<p>議長</p>	<p>後半でそれぞれをまとめていく形にしたいと思います。家庭教育の重要性というのが出てきましたが、今年で3年目ですが「よりよい地域システムづくり」という名のもとでの居場所づくりの部分と、「地域の輪づくり」という2年間しか経験がないのですが、先ほど委員さんからお話がありましたように、一年間論議して、まとめて教育委員会に報告しっ放しの部分では、やはりいかなものかなという思いの部分は常に持っております。</p> <p>完璧に出来るものではなくて、行政に100%求めるものではなくて、色々な諸団体やら市民の皆さん方に提言、あるいは色々な会などに委員代表で出ていただいたり、色々な民間でほとんどの方がそれぞれの場面で活動なされていますので、そこら辺にどう影響力といますか、提言できていくのかなというところがこれからやっぱり問われるというよりか、実のあるものに、今していないということではなくてもう少しそこら辺が、すっきりしたものにはなりはしないかなという期待感があるんじゃないかなと私自身も実はずっとそのことを考えておまして、色々な社会教育委員さん方の意見や本やレポートなどを読んでも最後は、「社会教育委員で何?」と、「何したらいいの?」ということから会が始まるような現状の部分でいうのはいかなものかな、という形で社会教育委員さんが色々な場面で悩みながら、よく研究会の中で発表されているのを見て、改めて何か少しでも実りある形の部分で協議できたらやりがいもあるなという思いです。</p> <p>それでは、どうでしょうかね。私個人ですが、よりよい地域とい</p>

議長	<p>うか教育システム作りに全部総括的に入るのではないかという感じがしています。社会教育の部分で。</p> <p>家庭教育の重大さが言われるがゆえに、資料で配っております、隣の市のような子どもを見ないと、なんていう行政部門さえ作っていくような時代です。やはり子どもを視点に置いたときに家庭教育を含めて期待がものすごく集まっているというのはよく見えるのですけどね、構造として。川西市の場面はこれからどう持って行けたらいいのか、各委員さんにそれぞれテーマを決めるに当たって、もう少しそれぞれ意見交流していただけたらありがたいなと思います。私は「人でつながる地域の輪」、引き続いて最後に言われたような「大人の学び」と言われたら、家庭教育からなにから全て入ってしまうので、これではちょっと大きすぎるなという感じもしますので、例えば、つながりの場づくり、地域教育システムの策定を主テーマにしたらつながりの場づくり、ひとつの案なんですけど、というのは今まで提言してきた部分をいかに、そういう場をお互いに設定したり、活動されていらっしゃる方、今、柔道協会のお話をされましたが、私自身も川西市の例えば、空手の道場を開いて教え子がリーダーでやっているのですが、この間ちょっと招かれて行ったら、もう百名、二百名お母ちゃん、お父ちゃん、子どもを中心にしながら少林寺拳法なんかやっている場面、昼間は勤めながら夜は自分でそのような形で子どもの健全育成という思いといいますか、そういう姿を見て「頑張れよ」とメールを送ったら、「ありがとう」と返ってきたのですが、そういう大人同士の接触の場を子どもを視点に置きながらつながっていく、子育てもそうですし、家庭教育でもそうなのでね。</p> <p>もう一つは、地域教育システム作りというのは言い換えれば、かつては？ある学者が言われているのですが、家庭教育と地域教育、両方大事なのは分かっているのだが、当然家庭教育は戦後中心ではあったのだが、それがこのようになっていきた部分でやはり、</p>
----	--

<p>議長</p>	<p>地域みんなで育てていくのだという地域力というものが求められてくると、そして少しでも家庭の支援というか、精神的な面からだけではなくて、子育てなんかも含めて子どもに対する施策はどんどん出されて、学校教育だけではなくて最近では、土曜日の放課後、土曜日子どもプランというか色々な形で地域が絡んだ形の中で、学校だけに任せるのではなくてということで、色々行政が施策を打っていらっしゃるというのは、もう目に見えているのですが、そこら辺をさらに我々委員の会として、そういうつながりの場面的なものを一つのテーマにしたら、案外、論議をしやすいのではないかと勝手に思っているのですが・・・。</p> <p>どうですか皆さん方、ご意見・・・。</p>
<p>A委員</p>	<p>テーマですから、出来るだけ大きく包んで、これはテーマではないと言われないように、どんな意見でも入れるような大きな・・・。</p>
<p>議長</p>	<p>行政の方で何か、いいテーマ、それぞれの指導主事の方やあるいは社会教育行政の方もいらっしゃいますので、思いや、アドバイスや、これって言うことではなくて、もしご意見がありましたらどうぞ発言していただけたらありがたいと思います。</p>
<p>C委員</p>	<p>団塊の世代が地域に出て来ますよ、というのがあって、その人達ももちろんそうなのですが、今活動している方達も今活動している場からも少しは出ましようという、今度は違う活動の団体の所にも出ていきましよう、それから学校からも、学校はだいぶ開かれてきました、出てきました、それから地域からも学校に出て行きましようというので、ちょっと前に流行っていた、公園デビューじゃないのですが、地域デビューみたいな、それぞれがそれぞれのところから少し一歩踏み出しませんかというような、そういうところの提案が出来るテーマになったらいいのかな、と思うのですが。</p>

<p>C 委員</p>	<p>大人もそうですし、お母さんも自分1人で悩まないで、一步どこかへ出ませんかとか、ちょっと最近ましになったと思うのですが、ちょっと前、子ども達は周りの人とかを石とか木とか、何か物のように思っていて、今もありますかね、電車の中で座り込んで友達どうしてだだしゃべっているというのは、多分一緒に乗っている人達を、どこかでつながっている人と思っていないところがあるような気がするのです。</p>
<p>A 委員</p>	<p>最近は、子どもだけじゃないのですね。</p>
<p>C 委員</p>	<p>大人もいらっしゃいますが。そういうのではなくて、一步出たらその人は自分のお友達かもしれないとか、ひょっとしたら親戚のおじちゃんだったかもしれないとか、そういうような・・・まとまらないですが・・・ちょっと自分で一步踏み出しませんか、というようなことが伝えられるようなものがあればいいなと思います。</p> <p>色々な催しというか、子ども会で色々されても十分家庭がうまくいっているような子どもさんはいっぱい来てくれるけど、ちょっと来てほしいと思うお家の子どもさんは、結構来てくださらなかったりとか、そういうのが多いので、それぞれが出てみませんかみたいな・・・なればいいのかと。</p>
<p>D 委員</p>	<p>子ども会なんですけど、大人が役員になって楽しんでいる子ども会は、活発なのです、子ども以上に。親が楽しんでいる子ども会は、活発です。子どもを核として親が学ぶことで、それが子どもにとっていいことですよというふうな形のテーマは・・・何だと言われたら分からないです。言いたいこと分かりますか？</p>
<p>委員</p>	<p>分かります。</p>

<p>D 委員</p>	<p>ありがとうございます。</p>
<p>議長</p>	<p>昨年の、「人でつながる地域の輪」、多分G委員の発言もあったと思いますが、例えば一つの例で、「おやじの会」という公民館サイドにお願いというか、提言を一つの例として、市民サイドで立ち上げていく、その場はどこでもいいのですが、その今、子供会の例を挙げられたように、まず集まらないといけないのですね。集まる核が地域での、コミュニティでの文化活動、体育活動や一つのイベントでもいいし、学校においてはPTA、PTAの歴史は長いですが、その年度のPTAの活動において、逆に今度はお母さん方の連携というか、核となって仲間が増えて、社会教育の大半は川西を背負って立つぐらいのお母さんパワーというものを出していらっしゃるというか、何か架けつながりの場というのが、今、スポーツの件でもお話しされましたが、ということは、逆に行政のほうもそれに応じた形の部分のプランや施策が常に行われている、もちろん我々が考える以上に、国や県や市の段階でどんどんプランを・・・ただお金が絡んできますので、お金が絡むということは、お金がかかるのだけれども、いつまでも行政に頼っていたらいけないので、市民サイドで継続していかなければいけないという・・・多分、行政の方はそこら辺を悩まれると思うのですが、そういう視点もあって、私は、場作りなどは案外論じやすいし、案外行政にもシビアな形で提言もできると思います。どうでしょうか・・・。</p>
<p>F 委員</p>	<p>つながりということを僕もすごく考えたことがあります。B委員が僕の前、前任校?だったときの評議委員をされていた時なのですが、子ども居場所づくりというのを受けていた?のですけれど、それで考えたのが、それぞれの教室を作る、例えば英語だとか、手話クラブだとか、あるいは理科実験クラブだとか、図書の読み聞かせとか、その中でやっぱり活動がないと親同士は結びつかないのです</p>

<p>F 委員</p>	<p>よ、何かね。</p> <p>一番多かったのが、図書館のボランティアの方です。最終的には、50人近く来られたと思いますが、僕がその学校を（教師として）出る前ですが、非常にアイデアを出されて、活発に活動されたと・・・</p> <p>・最後私が（学校を）出る年に途中からしたのは、お絵かきクラブというのですけれど、それもPTAの総務をやっている方が世話役みたいなのを忙しいのに自らやるということで、そんなにたくさん図書（のボランティアの人数が）いるのなら、剣玉コマクラブはあまり（人数が）いないので、こっちを手伝うというから皆・・・</p> <p>（聞き取れず）やったんですけど、やっぱり自分の生き甲斐、そういう活動の生き甲斐をそれぞれで見つけて、持たれていると思うのですが、非常に仲がよいのですね、グループというのですか、他のそれぞれの教室の世話役をしてくれる人（ごと？）にだいたいみんな仲がよいと思います。</p> <p>学校にとっていいなと思うと（のは？）、その人達皆がやっぱりある意味で協力者ですね。やっぱり安心できますし、自分の言ったことも理解していただけるという感じが常にしていましたので、そうして考えた時に、何をしているのかと自分が思った時に、やっぱり大人というのか、親の輪、できるだけ引っ張り出してこようと、そういう意識を持っておられる親を引っ張り出してこよという意識はあります。</p> <p>何かそういう人達がまた、新しいことを生み出してくれるのではないかという期待というのが（あります。）</p>
<p>A 委員</p>	<p>何かこう一つのきっかけを作った時に、例えば市の貸し農園ってありますよね。何か四百区画ぐらいあって、申し込まれてそこで初めて畑をされたとか、そのような方達はただ貸してそのまま勝手にやって作って、だけじゃなくてその方たちに呼びかけて一つのグループを作って、やれこんなんだとか、そこでこうワイワイという、</p>

<p>A 委員</p>	<p>そうしたらそこで何かがまた生まれるという、もう一つ何か一步進んで、ただ貸す、「はい団塊の世代の皆さん退職したらここで畑をしましょう。」じゃなくて、したら何かでどこかで集めるというね、次につなげるというのを少しずつ考えていくとどんどんやっぱりこう……。</p>
<p>議長</p>	<p>また、去年のにこだわるのです。コーディネーター役というか、それをいかに行政や市民、どこがきっかけを作っていくかと、今、矢問の問題と言ったら、貸し農園の……新聞上であれ位何百名と団塊の世代の方を視点において市の方で本当に大ヒットの施策を出された、うまく何か、組織といったら大げさですが、「おやじの会」じゃないですが、つながりの場を何か旗を掲げて、地域の環境を考えるというか、行動を起こしていこうと、矢問の辺を中心に色々と考えていくというような、コーディネーター役の育成といいますが、そこは行政が手を入れる、入れないは別として、そういうのは本年度すぐにでも、私などと同じ年代の方ですから、農園だけで帰ってくるのではなくて、余った肥料を街路樹に撒いていくというような、例えば美化活動をやっていこうかというような、いいきっかけ、施策なので次に広がっていくのですね。そういう場をどんどん提言していくというか、そういう人を育てていくというか……色々アイデアはあるのですが、まとめるのは大変なのですが……。</p>
<p>G 委員</p>	<p>ちょっとずれてしまうかもしれないのですが、今回16年、17年度「青少年の居場所を求めて」ということをまとめて教育委員会に出させていただきます。そして次が、「人でつながる地域の輪」ということで教育委員会に出させていただきます。それで教育委員会の方でどのような形で進めていっていただけるのか、というのが非常に気になる場所だと思います。</p>

<p>G 委員</p>	<p>といたしますのが、テーマの話に戻りますが、やはり具体的に落とし ていくのがいいのか、このように提言をしながらやっていくのが いいのかと、非常に今のお話の中でも学校のことに關してやはり、 地域と家庭と、というバランスを持ってやって行きましょうよ、と いうことでもやはり具体的にコミュニティーを使ってこういう形で やっていったらいいじゃないかというのを落とし込む、というやり 方もあると思うのですが、ただ、教育委員会サイドがどういうふう な形で、私どもの提言並びに書類を、「今後こういう形で持ってい こうと思っているんだよ。」ぐらいはお聞きしておいたほうが、テ ーマに關しても進めやすいのではないか、と思うのですが、その辺 のところはいかがなものなのでしょうか。</p>
<p>議長</p>	<p>大事なことだと思うのですよね。いかがでしょうか、事務局。</p>
<p>事務局</p>	<p>非常に耳の痛いところだとは思いますが、やはり今おっしゃっ たことは、提言されて具体的な道筋をつけてそれを施策、行政に生 かしていかなばならない。教育委員会だけではだめなのですね。や はり市長部局との連携とか、市全体との連携、もしくは県への色々 な要望とか、国への要望とか、色々なことが絡んでくると思いま す。</p> <p>それで国全体の方向性が出てくるというようなことが、提言の一 つの動きだと思うのですが、まあそう時に、多分私どもの一つの今 年の大きなテーマになるであろうと思われることが、市長部局と教 育委員会の連携のなかで、子どもを取り巻く環境の中で、宝塚の方 の事例が出ておりましたね、「子ども未来部」ということでいろいろ なところの散らばっている、子どもに関することを一つに集めて いると、その良いところと悪いところとももちろんあるとは思っ たのですが、そのような中で、提言の中で皆様方のご意見も非常に聞き たいなと思いますし、またそれぞれを、提言された部分をさっきお</p>

<p>事務局</p>	<p>っしゃっているように、施策に生かしていったらどうなったのだというふうにフィードバックしていかないと、また新たな提言が出てこないというようなことになると思います。</p> <p>具体例がないのですけれど、そういうようなことを考えていかねばならないなと思うのです。</p> <p>大変だと思うのですが、ちょっと遠慮はしておるのですけどね・ ・ ・ ・。</p> <p>やはり皆、悩んでいらっしゃるのですね、全国的に社会教育委員の会の部分では。たけど今の時代はスピード感が求められるので、そこら辺多分、G委員は遠慮気味にお話されたと思うのですが、スピード感をやはり求めていらっしゃるのが今の市民の動きではなかろうかと思うのですが・ ・勝手に解釈して申し訳ありませんが。副議長いかがでしょうか。この件でなくても、まとめの方向でそろそろ・ ・ ・（聞き取れず）・ ・としますので。</p>
<p>副議長</p>	<p>難しいですね。先ほど議長がおっしゃいましたように、つながりというそこらの辺りが一つキーワードなのかなと思っておりますが、私自身が活動の中で常につなぐということだけが仕事のようなことをしておりまして、実際地域の中でも、PTAがあったりコミュニティがあったり、なにかそういう活動の場というのとはまた別に、市民が人のつながり、気楽につながれる場所を求めて、コミュニティカフェというのがあちこちに、川西市にはありませんが、千里の方であったり、八尾、堺、こちらの方でも作られています。</p> <p>そこは気軽に立ち寄れて、もちろんお金もかかるのですが、喫茶店という雰囲気でもなくて、めいめい自由にといい、喫茶店ではないので子供も立ち寄って話して帰ってもかまわないだろうし。</p> <p>そういうつながりの場所が、市民の中では提案して実際に立ち上がっているところもあります。それが行政発信、行政が何らかの手は最初は出さないといけないかもしれませんが、本当はそれが市民</p>

## 審 議 経 過

No. 2 2

副議長	からの発意によってね、形をうまく作り出していき、そういうのをどうしたらいいか、その辺も考えて……。
A 委員	<p>川西市でも10人、20人位のグループで主婦たちが集まって、別に何かをするというグループじゃなくて、何となく来て、誰かがラガールカードではんこ入れを作って、「あ、それちょっと教えて。」という感じで、お茶を飲みながら別にそれでもしなくてもいいから？何となくしゃべっているというグループもあります。</p> <p>行ったら気持ちがすごく楽しくてという、そういう（ものが）意外と川西市でもちょっとずつあるのです。それを、情報ですか、どこかが知っていたら外へ発信して、「誰でも入れるよ。」というふうにオープンにしていけるというね。</p> <p>ただ情報をいかにどうして発信するかというのが……必ずどこかで皆さん気持ちがあって……だからまずは情報ですよ。</p>
副議長	つながりの場があるとか、どうやってその場を作っていくかということなど、情報提供していくことが必要ですね。私達の団体は情報も求めてこられる方々にご紹介したり、一緒にやってみませんかということをしてはしていますが……。
議長	昨年、一昨年とみんなつながってくるのです。G委員が言われたように、情報発信の問題というのは、社会教育、生涯学習を推進するためには市民に向けて果たしてそれが十分出来ているのかどうかという問題も実は、私達は点検機関ではないのですからなおさら期待をするところが多いのであって、教育情報センターの所長さんも情報センターの所長さんですので、教育情報を……そこらへんの思いはいかがでしょうか。
事務局	情報発信ということはやはりとても大切なことだと思います。

<p>事務局</p>	<p>今、言われておりますが、つながりの場がそれぞれにあると、市民の方がそれを知らないで過ごされる・・現在、市の方では「広報かわにし」でありますとか、市のホームページでありますとか、ケーブルテレビでありますとか、そういった形でそれぞれ、あるいは自治会の回覧板というような形で、そういった情報発信をいかに進めていくかというところが、やはり大切ではないかと。</p> <p>私どもも、教職員向けに毎月、全員配布という形で「センターだより」というものを作成しておりますが、今年からは、今までは比較的文字がすごく多かったのですが、文字からやはり、ぱっと見て中身が理解できればいいかと・・・（聞き取れず）・・・入れていこうという形で、情報発信の仕方も少しずつ工夫していくことが必要なのではないかということは思っております。</p> <p>今までは、白黒だったのですが、今、カラーでもあまり値段が変わらないということになってきたので、この4月からはカラーで「たより」を作成してそれぞれ情報発信をしているという状況です。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。これは、内部用のたよりですか、市民向け、ホームページうんぬんを言われたのですが、市民向けではなくて内部向けですか。内部といたら、学校の先生方用ですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>私どもが作っていますものは、教育情報センターの方のたよりは内部向けで、いわゆる教職員を対象にしているものでございまして、それから「青少年センターだより」というものを毎月1回発行しておりますが、これは補導活動と青少年の健全育成ということについて、情報発信をしておりますが、それぞれ各自治会のほうで、中には増し刷りみたいな形で、回覧板の中に綴じ込んでいただいて、それぞれ読んでいただいているということで、これは市民向けという形でさせていただきます。</p>

副議長	<p>ホームページにも挙げられていますね。</p>
A 委員	<p>回覧板は、やっぱりいいですね。インターネットは、何でもコンピューター化しても、「システム作りでも開いたら分かる、アンテナを張ってくれたら何でも載っているんだよ。」とおっしゃるのですが、半分の人は見ないのでよね。パソコンを使わない人も多いのですよ。アナログの人を放っていかないでって、最近(中央図書館?)の方でも思うのですけれども。</p> <p>本当に何も分からないのだよ、という人達を放っておかないでって、回覧板なんか本当に隅々まで行くし、「はい、回覧板だよ。」と持って来てくれるし。自分でこう、情報を求めなくても来てくれるというのは本当にありがたいのです。</p>
議長	<p>教育情報を色々な形で各部署でされています、今、社会教育部分においても青少年の問題だけではなくて、教育委員会の動き等が実を言いますと、分からないです、あんまり。</p> <p>やっぱり分かりません。委員だからこういうあれ(資料?)を頂いたので、今年は大いび方向が違うのだなというようなことは、前回(資料を?)いただいて分かるのですが、一般の方が、特に生涯学習の部分でしたら、やはり情報センターなんかそうとう工夫をされて、学校だってホームページを持っていらっしゃる場所もあるので・・・持っていらっしゃるって何年間も動かないホームページも、ふっと見たらあるのですが、やはり全員一応?発信をしていただいて、市民向けの講座、公民館なんかもそうとう工夫をされていますが、是非、お願いしてほしいということは昨年、提言と言いますか、申しておりますので一つずつ・・・(聞き取れず)・・・是非、今年論議していく上の中でやはりまた、情報の発信というのがものすごく大きなテーマになってこようかなと思います。</p> <p>そうしますと、あと残り20分少しぐらいしかありませんので、テ</p>

<p>議長</p>	<p>ーマ、表題を一応決めるという作業に入らせていただきたいと思います。色々な思いや、願いが出てまいりました。過去の経緯の部分もありますし、提言を求められているわけではないので、ちょっとやりづらいな、というのが私個人的には思っているところですが、やはり一年後、教育委員会の方にお話できるような委員の会には是非、していきたいと思しますので・・・。</p> <p>そして実のある形で、一年後はきっとまた行政の方からもお話があったりというようになるうかと思います。</p>
<p>B 委員</p>	<p>今日聞いた中では、「つながりの場づくり」というのが一つのポイントになると思います。</p>
<p>議長</p>	<p>具体的な形でいきますと、よりよい教育システム作り、これは主テーマ、引き続いてでよかろうかなと私は思います。その中に全て含まれるという捉え方の中で・・・「つながりの場づくり」・・・去年は「人でつながる地域の輪」でしたね。今年は抽象的ですが、「つながりの場づくり」と、こういうテーマにしますと、具体的な形で絞られやすいのでは、論議をしやすいのではないかと私は勝手に思ったのですが。</p> <p>といいますのは、場づくりですから公民館の問題、去年ものすごく大きく提議させていただきました。公民館の問題も出てきます。コミュニティ出てきます、子ども会、学校というつながりのとてつもなく影響力の大きいつながりの場として学校・・・。</p> <p>公民館になると、先ほどの公民館におけるグループの活動。生涯学習センターの活動の部分やら、あるいは子育て問題については、保育を含めての場づくり、いわゆる?家庭教育の部分にまとめることができるのではないかと、広義としては?家庭を視点に当てた形の中で「大人の学び」を含めた形で、論議が進むのではないかというふうに勝手に思っておるのですが、いかがなものでしょうか。</p>

議長	<p>表題で急にというのは難しいのですが、あと、論議の中身次第ですけど、「よりよい地域教育システムづくり」、サブテーマで「つながりの場づくり」。阪神北は、昨年と同じように「よりよい地域教育システムづくり」そしてサブで、「大人の学び」です。</p> <p>ちょっと論議、まだ時間がありますのでお願いします。B委員いかがでしょうか。肉付けしないといけないと思っているんですけど。</p>
B委員	<p>ずっと話をお聞きしていて、やっぱりまとめるのは大人ですよね。大人がそういうふうになんかちゃんとしていくところから始めないと、子供には広がっていかないというのは、これはもう明らかです。子供たちのそういう、まとまっていく場というものをちゃんとしていく必要があるかなという気がしています。</p>
議長	<p>最初に論議されていましては、家庭教育という名前でサブを作っていくのも一つの方法なんですけれど、他の社会教育委員の会なんか例えば例を見ていきますと、家庭の教育力充実に向けた取り組み、これは昨年・・・（聞き取れず）・・・いただいた市や県での委員の会で例えば「家庭の教育機能を高める方策について」というような形のところもあれば、武蔵野市の「生涯学習事業のあり方について」あるいは埼玉所沢なんかは、「意欲や社会性を身につけた子どもを育てるための家庭、地域行政の役割について」岡山などは、「家庭の教育力充実に向けた取り組みについて」、「子育て支援との連携を中心にして」というようにテーマの名前は色々、各委員の会であるのですが、家庭教育と名前がついているところも結構あります。</p>
A委員	<p>あまり一つに固めるとあれですね。せっかく討議報告を出したのだから、この場をどうして作るかというのを具体的に話し合ってい</p>

A 委員	<p>くのがいいことだと思います。</p> <p>家庭ということ一つにまとめてしまうと、ものすごく微妙な話になってきます。</p>
副議長	<p>思うのですが、これから6回、7回があるわけですから、一つの回はそういうことをメインでというふうな形で、場づくりとか、つながりを作るにはどうしたらいいかということを考えていくと、その回、その回のまとまりを持ちやすいのではないかと思います。</p>
A 委員	<p>皆、やっぱり結局は「つながりの場づくり」ですよ。</p>
議長	<p>基本的には論議をしながら、年度できちんと報告して、あと確認や教育委員の先生方をお願いだけではなく、具体的に諸団体を巻き込んだ形の中でそれぞれの委員に・・・皆、委員会にご出席されていますし、・・（聞き取れず）・・の部分もありますので提言をするという意味でいいかなと思います。</p> <p>学校の教育現場の方はどうでしょうか。違った視点から見てもらわないと・・・。</p>
E 委員	<p>「つながりの場づくり」ということで、学校で言ったらPTA活動になると思うのですが、自分が一番つながってほしい親は、出てこない親なのです。その場に出てこないというか、出てこれない親なのです。その辺のところ、一番自分としては今、頭にあるのですが。</p> <p>でもこのテーマで言えば、次回からそういうことをまた焦点を当てて話してもらったら、そのような保護者もどうやって（足を）向けさせるかという話もできるかなと思っています。</p> <p>まずは、やはり保護者への啓発活動です。これはさっき出た「大人の学び」ということだと思うのですが、「大人の学び」にも色々</p>

<p>E 委員</p>	<p>あるけれどいわゆる最近は、「親学」というかね。やはりそういった意味での学びというのが、まず土台として必要だと思います。</p> <p>その上でやはりサポートの必要な親をとう結びつけてくかというその辺のところだと思います。うち(の学校)の場合は、どちらかというとまだ、いきなり「つながりの場づくり」と言ってもだいたい毎回PTAの活動に出てこられるところは、問題ないのですが、そうでないところはね・・・。</p> <p>だけど出てきたくても、出てこられないところもあったりして、その辺をとうするかということを考えていかないと、今、学校現場が抱えている色々な青少年の問題は、なかなか先が見えてこないと思います、進まないと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>私の思いの中では、かつて公民館をすこし齧りましたので、例えば公民館のあり方・・・公民館運営審議会もあるのですが、講座の問題やその後の登録グループの活動の場、すなわちそういう視点からも考えることも、色々なところが全部つながってきそうな感じがします。</p> <p>例えば、子育ての問題についても、例えば、生涯学習センター、公民館やPTAも含めて、いかにコーディネーターをどのようにやっていくかということにも入ることができますし、例えば「市民サイドでの親父の会を作ったらどうか。」という意見も提言しておりますが、そこら辺のどこを一つのきっかけという形、例えば行政にお願いを、どういう場面にプッシュしてほしいということも具体的に論じる、論じ方ができるのではないかと、里山の環境問題なんかでもやはり講座のあり方にしても、そしたら今度行政の連携というか、縦割り行政の問題が去年出てきましたね。</p> <p>県は県、市は市、市長部局は市長部局というような形で、せっかくもったいない大切な里山の環境を考えた時に、ここでも提言しているようにやはり、何とか行政の方のもう少しスムーズに話ができ</p>

<p>議長</p>	<p>ないだろうか、と市民の視点に立ったことができないだろうか、ということや、案外論じやすいのではないかという形で、自分で自分をこう言っている感じですけど・・・。</p>
<p>副議長</p>	<p>場というのが人と人が出会って、つながる場というのはスペース（場）を考えがちですが、先ほどE委員のお話を伺っていたように、出てこれない親もいるということを考えたら、また違った場の作り方というの論じる必要があるかなと思います。</p> <p>ですからそういう方には、やっぱりインターネットなり色々な方法をまた、そういう情報提供とか、出会い方もして実際に、最終的に顔が入るような方法とか？ そういうふうを考えていけたらいいのかなと思いました。</p>
<p>D委員</p>	<p>難しいサブテーマのすごい言葉の後で、お恥ずかしいのですが、広くして、「大人の学びは心の学び、心豊かな子供を育てるために」その「心豊かな」というのを本当は、「元気な子供」としたいのですけれど。そうしたら、「つながり」というのが入らないというのが・・・（ありますが）。「場」も入らないのですが・・・全部入っていませんが・・・。</p>
<p>議長</p>	<p>よく考えたら、今年のテーマはすごいですね。「人でつながる地域の輪」去年の、継続で引き続いてもいいんですけどね。</p> <p>D委員のものは、非常にユニークで思いが全部集約されていますので、年度末のまとめの会で是非、見出しにでも使いたい言葉だなという感じがしますね。</p>
<p>F委員</p>	<p>場の中に内容も含まれていると思うのですが、私は内容というのが非常に大事ではないかと、場と内容がないとだめであると、どんな活動をするかと・・・。</p>

F 委員	<p>これは例え話ですが、本校では、私もつながりということが前の学校の時にものすごく頭にあったものですから、今の学校でもつながりという面で自分の学校を見るのです。</p> <p>そうすると、地域とのつながりもあるのですが、PTAのことで限定して絞りますと、つながりを広げる何かがないかな、と私は探していたら、本校は一人一役という規約があるのです。「それが本校の伝統ですよ、PTAの。」と私は、一度PTAの会で言ったことがあるのですが。朝の登校の時に、ものすごい(数の)お母さん方が出てこられる。ただ、(そのお母さん方に)つながりがあるかと言えば、私は分かりません。もっとつながってほしいなと、ただ子供を送ってくるだけではなくてというのが、今の私の思いです。</p> <p>あいさつ運動を(絡めて?)いこうかなということで、今年はPTAに強力に言っておるのですが、どこまで本気で取り上げてくれるかは私もあれ(分からない)なんです、そういうことが親同士、あるいは親と子供、あるいは近所の人と、というのも一つの方法として、あるのかなと・・・。</p> <p>だから出だしはそう、その次はまた考えられると思うのです、・(聞き取れず)・活動は。あいさつばかりではなくても。次のまた違うことがありえるかもしれないです。</p> <p>あくまでも自主的でないと、(いけないという思いが?)あるのです。強制されて、仕方がないからやっているというのでは、私はつながらないと思います。その場ではつながっているように見えるけれども、PTAの後、全て(想像したら?)自主的かといえばそうではないですね。そういう意味では、やっぱり組織は大事です。組織を生かして、どうつながっていくかということを考える必要があって、その内容も私は、場と同時に内容が大事かなと、ちょっと感じます。</p>
------	---

<p>D 委員</p>	<p>さっき私が申し上げたことをちょっと下げて（取り下げて）もらって……。去年の「人でつながる地域の輪」というのがやっぱりそこに行くような気が私は・・・（します）。</p>
<p>議長</p>	<p>去年の夏、宝塚市の社会教育委員の会から教育委員会に提言されたのは、「遊びに学ぶ」という題で提出されました。</p> <p>先ほど「つながりの場づくり」と言いましたが、例えば、「学びあい、支えあい」と、非常に分かりやすくそういう言葉でもいいですし、「学びあい、支えあい」は文部科学省が一つの施策の中で出しております、本年度の予算要求の中で。</p> <p>どうでしょうか、あと表題として……。まず、主テーマはどうでしょうか。「よりよい地域教育システムづくり」これはいいですか、昨年を引き続きまして。</p>
<p>全議員</p>	<p>はい。</p>
<p>議長</p>	<p>では、そのように主テーマはさせていただきます、「よりよい地域教育システムづくり」そしてサブテーマで論じていきますのが、具体的には「つながりの場づくり」あるいは、「学びあい、支えあい」非常に抽象的ですが……。あるいは、「家庭教育のあり方」……つながりの部分にこだわることもあろうかと思いますが……あるいは、阪神北が言っているように、「大人の学び」というのもありますし。</p> <p>これは皆、地域教育に全部つながってくると思います。はい、どういたしましょうか。それぞれ出していただいて・・・。</p>
<p>A 委員</p>	<p>「人でつながる地域の場づくり」</p>
<p>議長</p>	<p>昨年に引き続いて、「人でつながる地域の場づくり」はあはあ・</p>

議長	<p>・ ・ 昨年のに ・ ・ ・ 。</p>
A 委員	<p>一歩進んで、さあどうするという ・ ・ ・ ・ 。</p>
議長	<p>人でつながる場づくり ・ ・ ・ 。</p>
A 委員	<p>ずっと、さんざんつながるのは大事だ、大事だという話なので、その場をどうして作るかということ ・ ・ ・ ・ 。</p>
議長	<p>地域の輪から今年は、場づくり ・ ・ ・ 。</p> <p>（皆さん）どしどし出していただいて ・ ・ ・ 今、2つ出ております。「人でつながる場づくり」あるいは、「学びあい、支えあい」阪神北の「大人の学び」どうしましょうか ・ ・ ・ ・ 。</p> <p>誰かあと2人発言していただいて、それでまとめましょう。指名していきましょうか ・ ・ ・ 1人1人言ってもらいましょう。B委員お願いします。</p>
B 委員	<p>最初に言いましたように、「つながりの場づくり」と言ったのですが、A委員がつながりの上に人をつけられたので、「人と人のつながりの場づくり」はどうかと。まあ、「人でつながる場づくり」と一緒ですが。</p>
G 委員	<p>副議長が言われたとおり、各回数ごとに、委員会ごとにテーマ、「家庭教育」というような形でやっていったらよいと思うのですが、サブテーマに関しては、議長の熱き思いの「つながりの場づくり」に私は賛成させていただきたいと思います。</p>
E 委員	<p>私としては、「学びあい、支えあい」が自分の感じには近いですね。支えあいは、やっぱりつながりということでもとまりますね。</p>

E 委員	<p>具体的だと、私は思いますので。</p>
F 委員	<p>「つながりの場づくり」で結構です。</p>
C 委員	<p>私もいいかなと・・・「つながる」というのを自ら意志を感じるように「つなげる」というのですかね・・・今できている輪も、輪同士でつなげるというか、今出ていない人を地域の方につなげ・・・もうちょっと意志があったらいいかなって。</p>
A 委員	<p>「つなげる」になると、人から言われてという雰囲気はどうしてもね・・・自分たちからつながっていこう、という感じが少し薄れるのです。</p>
C 委員	<p>自分からつなげるというのを、どこかにつなげるのだという、そっちの方が目的ですが。</p>
議長	<p>ということは、「人でつながる」・・・。</p>
C 委員	<p>「人をつなげる地域づくり」</p>
議長	<p>「げる」ですか。</p>
C 委員	<p>でも、思っていることは同じです。言葉の違いで・・・。</p>
議長	<p>国語の先生がいらっしゃるので、「つながる」と「つなげる」・・・。</p>
E 委員	<p>やっぱり保護者が変わって欲しいから、そういう面で言ったら私は、「つながる」の方がいいと思います。私達がどうこうするとい</p>

<p>E 委員</p>	<p>う意味ではなくてね、そういう仕掛けは必要かもしれないけれど、やっぱり自動的に自らつながってほしい、自動詞で「つながる」国語的に言いますと。</p>
<p>副議長</p>	<p>「つながりの場づくり」がいいかなと思います。本当は、「学びあい、支えあいの場づくり」という言葉も入れたかった、いいかなと思ったのですが……。</p> <p>（今まで出た意見は）「つながりの場づくり」、「人でつながる地域の場づくり」、「人と人でつながる場づくり」、「人をつなげる地域づくり」、「学びあい、支えあい」そんなところですが。</p>
<p>A 委員</p>	<p>でも、もう中身は一緒ですから、あとは議長と副議長に一任いたします。</p>
<p>議長</p>	<p>中身で勝負ということで、いきましょう。「ひとでつながる場づくり」・・・人でつながらないと、1人では生きていけないので、「人でつながる場づくり」と、あとは論議の中で分けていくという形で、つながるといふ・・・（聞き取れず）・・・は一つのキーポイントにしながら、7回に渡りまして、進めていくと。</p> <p>もう一度確認します。（主テーマで）「よりよい地域教育システムづくり」サブテーマで、「人でつながる場づくり」ということで一応、表題としては定めまして、あと論議ではそれぞれまた家庭教育等も含めまして、中身のある形で今後の会議を進めさせていただきたいなと思います。</p> <p>論議につきましては、これで終わらせていただいて最後にその他の方に入りたいと思います。何か、委員の皆様方の方からごさいますでしょうか。</p> <p style="text-align: center;">（その他）</p>

# 審 議 経 過

No. 35

委員一同	なし
議長	最後に、事務局の方でございますか。
事務局	<p>平成19年度 阪神北地区社会教育委員協議会総会の出欠確認 ・・・・6月18日(月) 13時30分～16時頃 宝塚市立東公民館にて</p> <p>次回の川西市社会教育委員の会のお知らせ ・・・・6月27日(水) 10時～12時まで 川西市役所2階 202会議室</p> <p>(閉会)</p>